

# 個人投資家様向けご説明資料

「医療と健康、美」を広げ、支え、つなぐ  
**健康応援オーケストラ**

メディパルグループは  
誰もが心身ともに健やかな社会の実現と企業価値の向上をめざしています



証券コード：7459（東証：プライム市場）

2024年10月11日

 株式会社 メディパルホールディングス

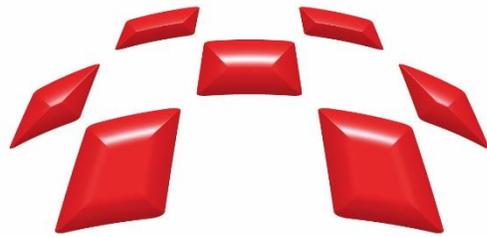
【将来の見通しに関する注意事項】

本資料には、メディパルグループの事業および展望などの将来の見通しに関する記述が含まれておりますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての現時点におけるメディパルグループによる分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により、現在の見通しと異なる可能性があります。



# 本日は説明する内容

- 会社概要
- 事業概要
- 成長戦略
- 資本政策



## 経営理念

流通価値の創造を通じて  
人々の健康と社会の発展に貢献します。

## 経営方針

1

社会から信頼される  
活力ある  
企業文化の創造

2

株主価値を  
高める経営と  
コンプライアンスの徹底

3

誠実で自由闊達な  
社風の醸成と  
創造性に富む人材の育成



連結売上高

**3兆5,587億円**



連結経常利益

**645億円**



連結従業員数

**13,075名**



連結子会社

**17社**



(2024年3月期)



## 医療用医薬品卸売事業



(株)メディセオ



(株)エバルス



(株)アトル



(株)東七



(株)SPLine



(株)MMコーポレーション



(株)アステック



(株)M V C



(株)ファルフィールド



メディエ(株)



(株)メディスケット

など

## 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業



(株)P A L T A C

## 動物用薬品・食品加工原材料卸売等関連事業



M P アグロ(株)



M P 五協フード&ケミカル(株)



# 会社概要

## 医薬品卸として創業して以来、事業規模と事業フィールドの拡大を果たしてきました

2000年 医薬品卸3社が合併。  
クヤ三星堂誕生



2009年メディパルホールディングス  
に商号変更

2007年  
丸善薬品（現：MPアグロ）  
を完全子会社化

2023年  
住友ファーマフード&ケミカル  
（現：MP五協フード&ケミカル）  
を完全子会社化

医療用医薬品等

動物用医薬品

食品加工原材料

1898年創業



2005年パルタックと経営統合

化粧品・日用品、一般用医薬品



2014年 桜井通商(株)  
（現：MP五協フード&ケミカル）  
を完全子会社化

食品加工原材料



事業ポートフォリオのシフトとパートナーとの協働を通じて、**変革・成長**を目指しています

## 事業フィールド 「医療と健康、美」

医療用医薬品等  
卸売事業



医療用医薬品、医療機器、試薬

化粧品・日用品、一般用医薬品  
卸売事業



化粧品、日用品、一般用医薬品

動物用医薬品・食品加工原材料  
卸売等関連事業

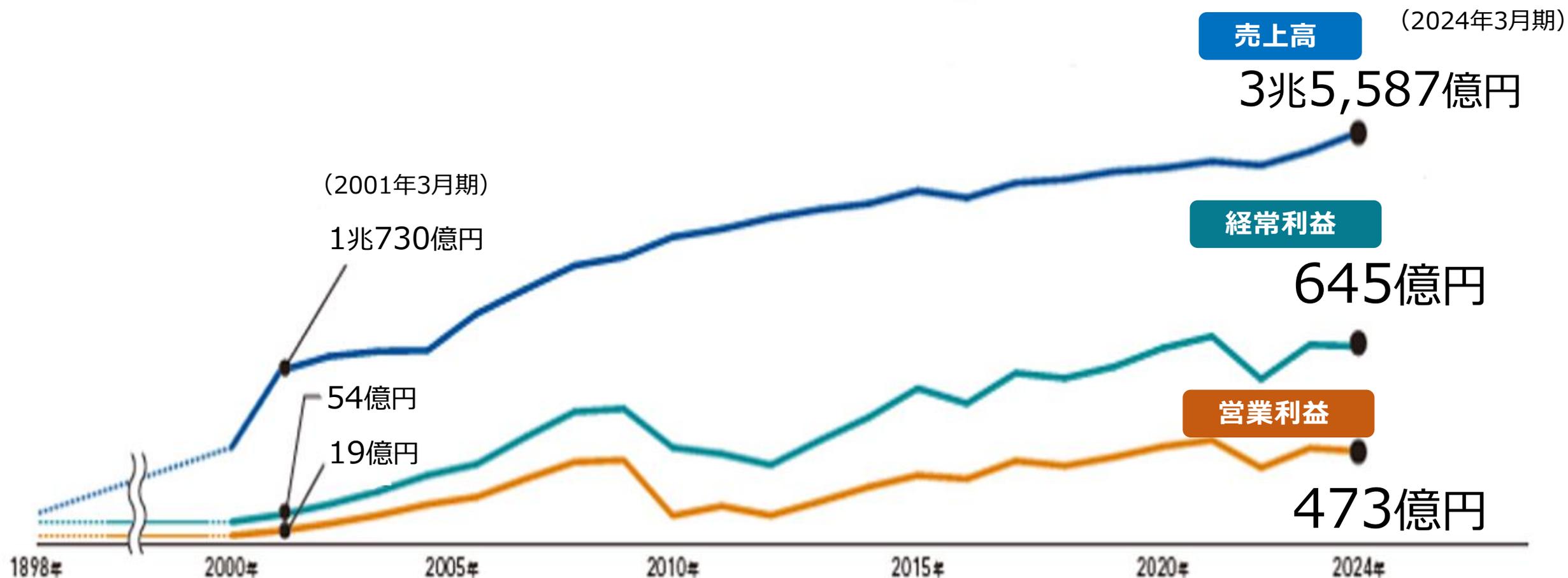


動物用医薬品、食品加工原材料

これらに加えて、ビジネスの持続的成長の実現に向け、「**新規事業**」の育成に注力



売上高、利益ともに、中長期にわたって安定的に成長を続けています





3つの事業フィールドがあることで、環境変化に強い収益体制を実現しています

売上高 3兆5,587億円

営業利益 473億円

医療用医薬品等卸売事業

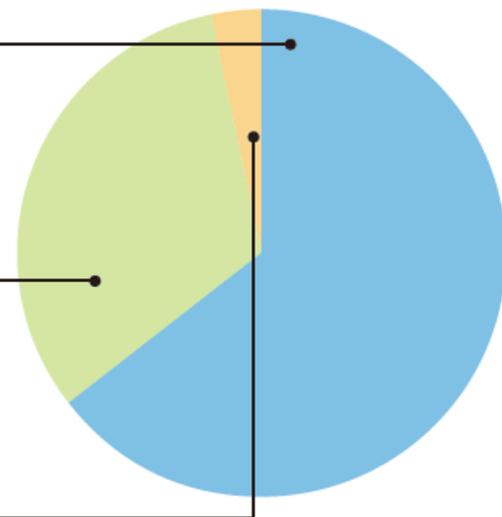
64.5%<sup>\*1</sup>  
2兆2,957億円

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

32.4%<sup>\*1</sup>  
1兆1,519億円

動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

3.2%<sup>\*1</sup>  
1,140億円



(2024年3月期)

医療用医薬品等卸売事業

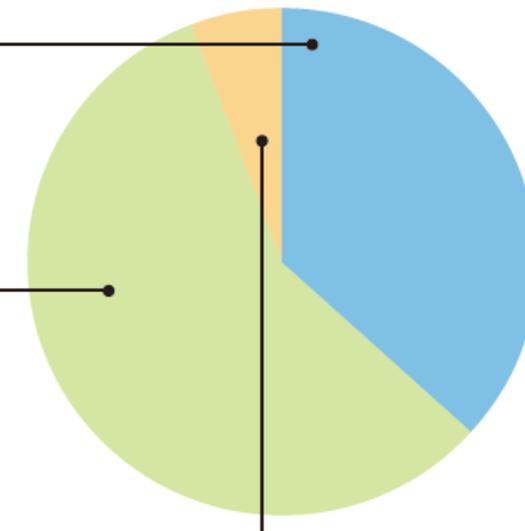
36.9%<sup>\*1</sup>  
174億円

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

57.4%<sup>\*1</sup>  
271億円

動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

5.8%<sup>\*1</sup>  
27億円



(2024年3月期)



# 本日は説明する内容

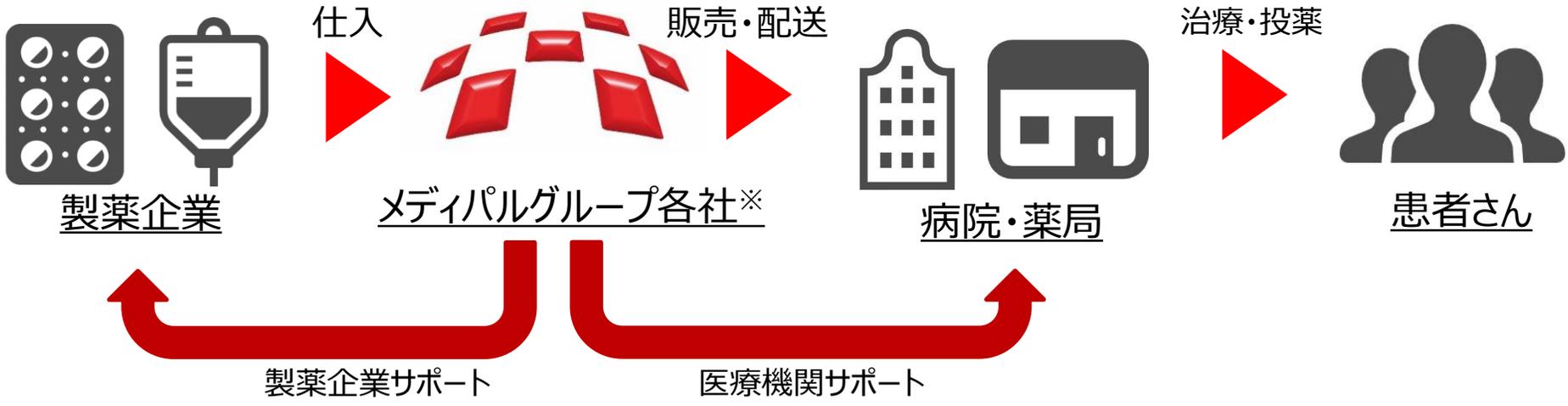
- 会社概要
- 事業概要
- 成長戦略
- 資本政策



サプライチェーンの中間で活動し、医療の最適化・効率化に貢献しています

売上高  
(2024年3月期)  
2兆2,957億円

営業利益  
(2024年3月期)  
174億円



※主な子会社  
 (株)メディセオ (東京都)  
 (株)エバルス (広島県)  
 (株)アトル (福岡県)  
 (株)東七 (長崎県)

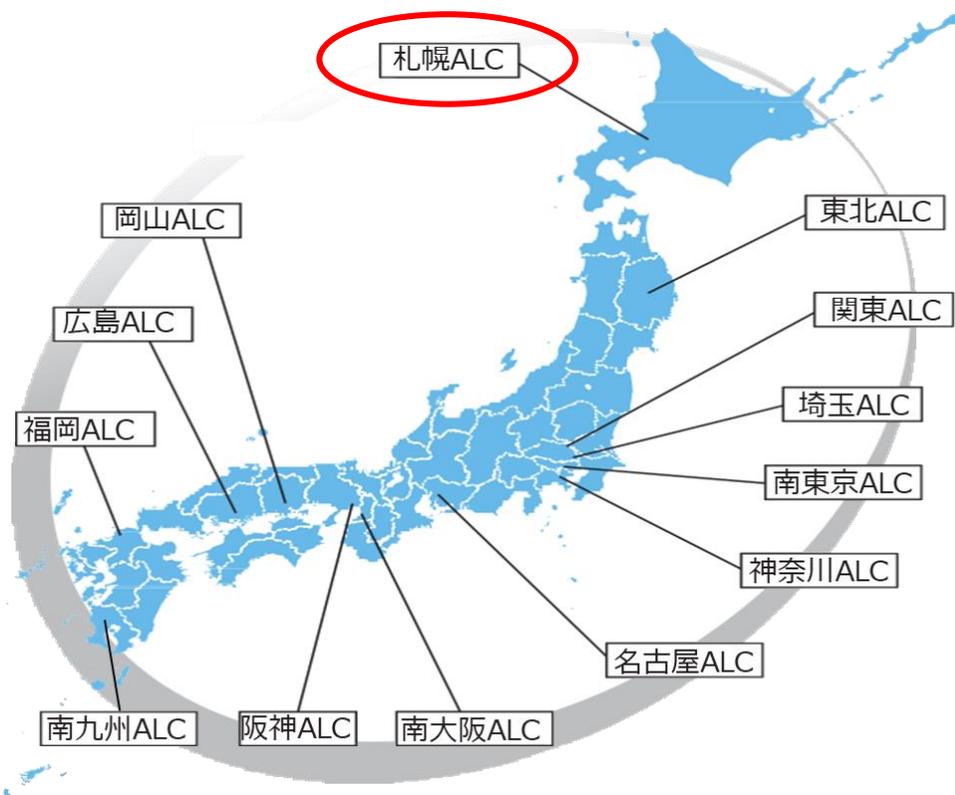
事業を支える2つの強み

**物流力**      **人材力**



全国13か所に高機能物流センター（ALC※）を設置  
豊富な品揃えと高い出荷精度により、地域の医療機関に貢献しています

※ALC（Area Logistics Center）



外観（札幌ALC）



免震装置



自動ピッキング



太陽光パネル



# 事業概要 医療用医薬品等卸売事業

## この国で、薬を届けるという使命。

メディパルは、医薬品、日用品などを取り扱う流通グループ。製薬会社と皆さんの町の医療機関、調剤薬局、ドラッグストアなど全国24万軒をつないでいます。私たちのモットーは、必要なものを、必要な時に、必要な量だけ確実に運び届けること。それは、災害時ならなおさらです。

私たちは、阪神・淡路大震災での被災経験から、災害時にも負けない流通を目指して、様々な取り組みを重ねてきました。

東日本大震災や熊本地震などで、大変な困難の中、被災地に必要なものを送ることができたのも、普段からの備えがあればこそでした。

災害とは切り離せないこの国だからこそ、あらゆるシナリオに対し、万全の準備をしておく。私たちにとって、薬を届けるということは、ライフラインを担うことなのです。

毎日の暮らしが、何かあった「その時」にも途切れることのないよう。私たちの目に見えない挑戦は続きます。



- 【非常時の配送手段の確保】非常時の配送手段として、自社のトラックに加え、バイクやドローンなどの活用も検討しています。
- 【ホストコンピュータの二重化】災害によるデータの消失・毀損のリスクを低減するため、ホストコンピュータの二重化によるバックアップシステムの構築を進めています。
- 【非常用自家発電装置の設置】被災地において、電力が供給されない状況でも、非常用自家発電装置を設置し、業務の継続を確保しています。
- 【自家給油設備の設置】被災地において、ガソリンが不足する状況でも、自家給油設備を設置し、業務の継続を確保しています。
- 【建物の耐震・免震化】被災地において、建物が倒壊するリスクを低減するため、建物の耐震・免震化を進めています。

メディパルグループ



メディパル 公式

## 頻発する自然災害への対策に注力しています

### 建屋の耐震・免震化



### 非常用自家発電装置



### 緊急配送用バイク

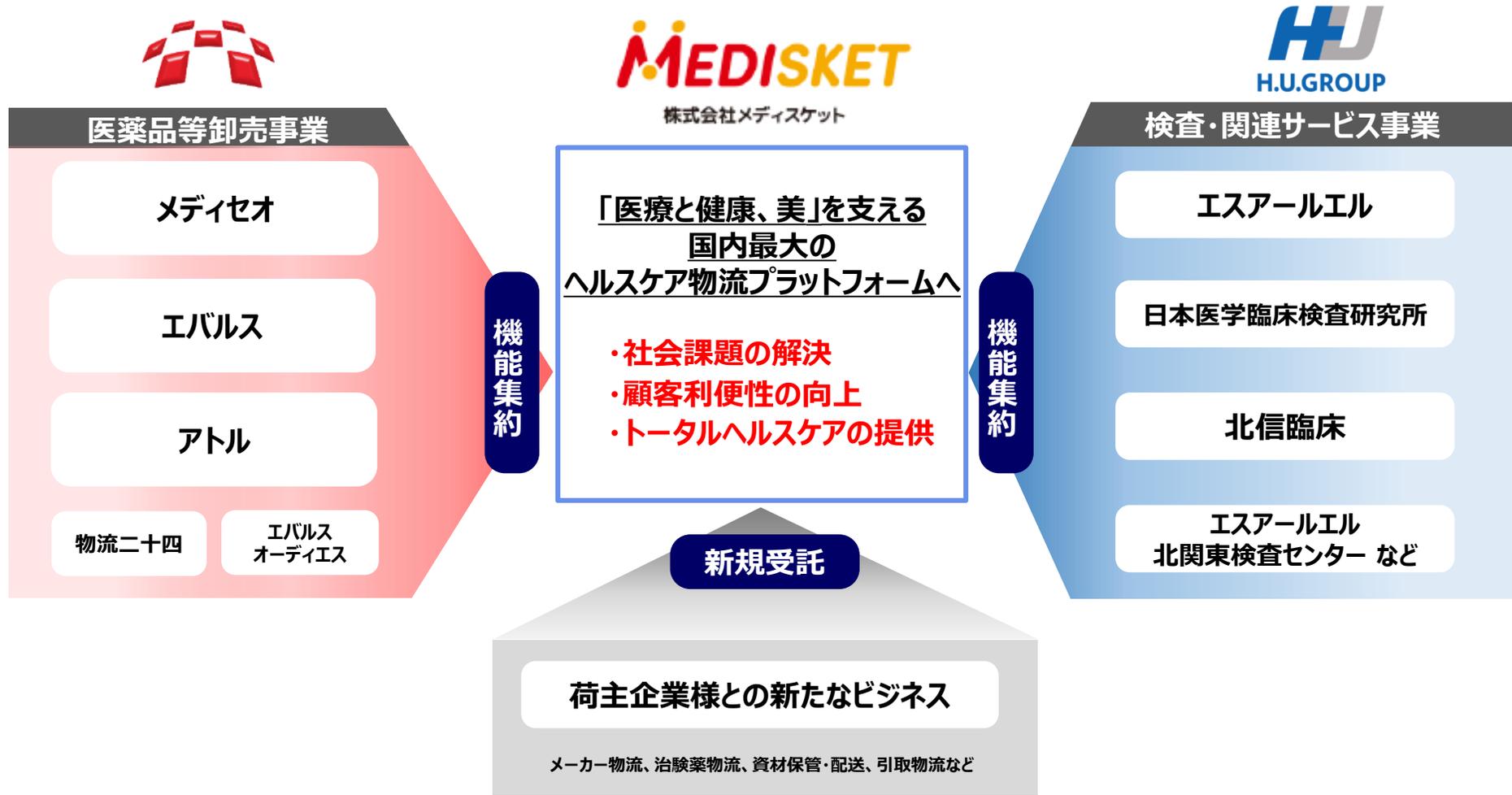


### 自家給油設備





物流機能を分社化し、メディスケットを設立  
H.U.グループとのパートナーシップにより新たなビジネスに取り組んでいます





社会のニーズを満たし、必要な医薬品を安全・安心にお届けできるよう、  
新時代の物流の実現に挑戦しています

### 超低温輸送



- ✓ 細胞医薬品などの輸送を可能に
- ✓ コロナワクチンの輸送でも活躍

### コンテナ輸送（モーダルシフト）



- ✓ 温室効果ガス排出量削減
- ✓ ドライバー不足への対応

### ドローン輸送



- ✓ 山間部や離島への配送
- ✓ 災害時の緊急配送



より環境に配慮した流通体制の構築を通じ、  
持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進中です

(連結)

温室効果ガス排出量  
削減目標 (Scope1・2)  
2020年度比較

2030年度  
50%削減



2050年度  
カーボンニュートラル

環境配慮型車両への切り替え



再生可能エネルギー使用



流通最適化





高度な専門知識を有するスペシャリティ人材が、  
それぞれの知識・経験を活かせるフィールドで活躍しています



### AR (Assist Representatives)

主な役割

- ・医療機関への情報活動
- ・製薬企業からの委託業務

製薬企業の医薬情報担当者（MR）を対象とした試験に合格した人材です。  
現在、約2,400名の合格者がいます。



### ウィメンズコーディネーター

主な役割

- ・疾患啓発活動
- ・婦人科施設への情報活動

女性診療科領域の医薬品や予防・診断・治療等の情報を総合的に医療機関に提供します。  
2022年4月に新設。



### RD-MR (Rare Disease MR)

主な役割

- ・希少疾病用医薬品の情報活動など

製薬企業での勤務経験もある人材が、専門的な教育を受け、より高度な情報活動を行っています。



2023年に稼働を開始した最新鋭の「阪神ALC」の  
紹介VTRをご覧ください。



日常生活に密着した欠かすことのできない商品を取り扱っています

売上高  
(2024年3月期)  
**1兆1,519億円**

営業利益  
(2024年3月期)  
**271億円**

取扱商品

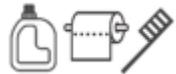
化粧品



一般用医薬品



日用品



健康・衛生関連商品



仕入



連結子会社  
PALTAC

販売・配送



顧客

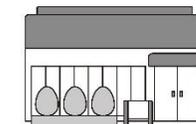
ドラッグストア



コンビニ



ホームセンター



- ✓ 高い生産性を実現する物流設備
- ✓ 顧客の業務改善や売上向上に貢献するソリューション力

業界シェア  
No. 1



# 事業概要

## 動物用医薬品・食品加工原材料卸売等関連事業

ペットや畜産動物向けの医薬品や、安全でおいしい食品づくりに必要な商品を取り扱っています



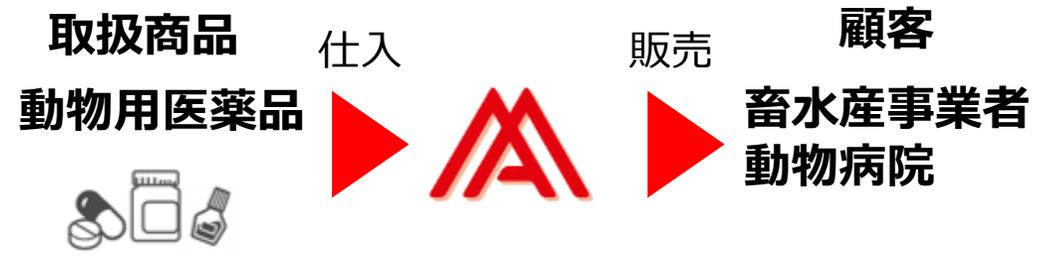
売上高  
(2024年3月期)  
**1,140億円**

営業利益  
(2024年3月期)  
**27億円**



### 動物用医薬品

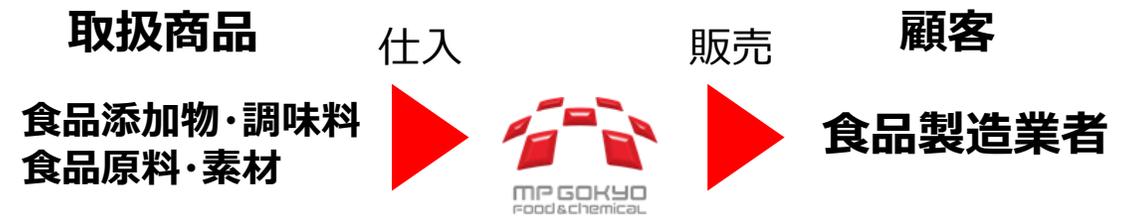
 **MPアグロ株式会社** 連結子会社 MPアグロ



動物用医薬品の開発も行っています

### 食品加工原材料

 連結子会社 MP五協フード&ケミカル

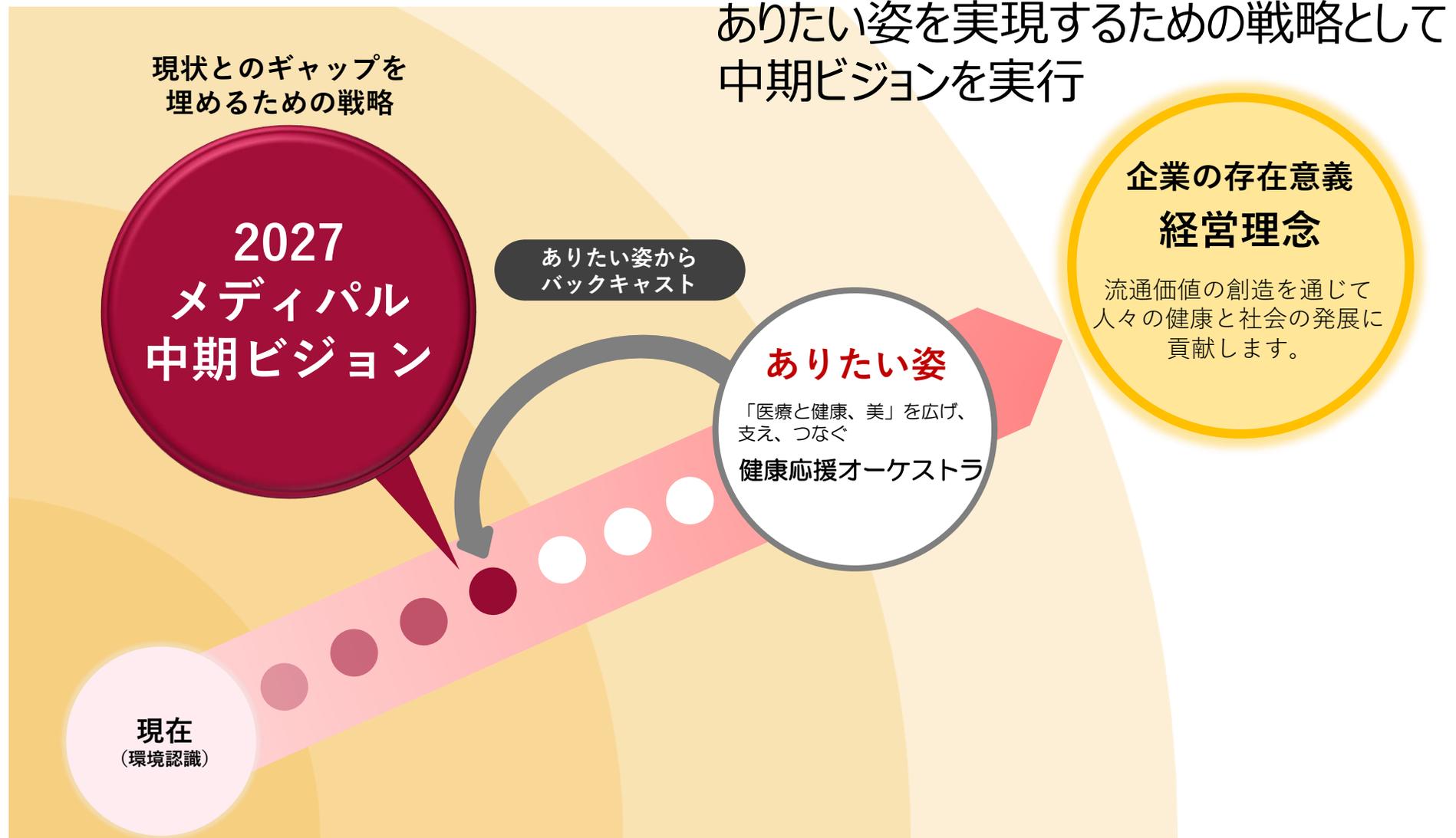


食品素材の研究開発も行っています



# 本日は説明する内容

- 会社概要
- 事業概要
- **成長戦略**
- 資本政策





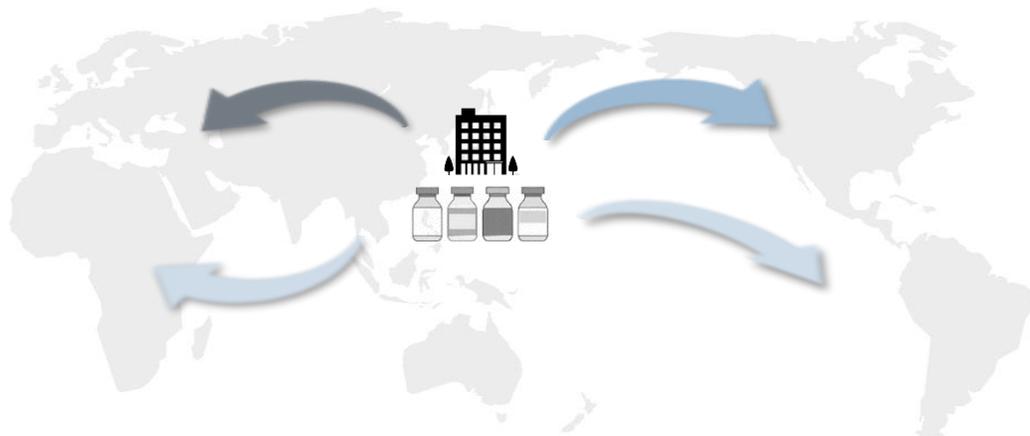
中期ビジョンに沿った取組みを推進し、グループの持続的成長を目指します

**Change the 卸 Forever**  
～たゆまぬ変革を～

事業ポートフォリオのシフトとパートナーとの協働  
で変革・成長する



患者さんに治療選択肢を提供する「社会貢献」と、新たな事業で高い利益を  
生み出す「利益貢献」を両立していきます



パートナーである J C R ファーマ(株)と超希少疾病領域のグローバルな新薬開発および事業化に向けた協業を開始。

ライソゾーム病の中でも、特に患者さんの数が少ない疾患を対象とした5つの新薬候補物質のグローバルでの事業化の独占的交渉権・実施許諾権を獲得。現在、新薬開発に取り組んでいます。

対象疾患

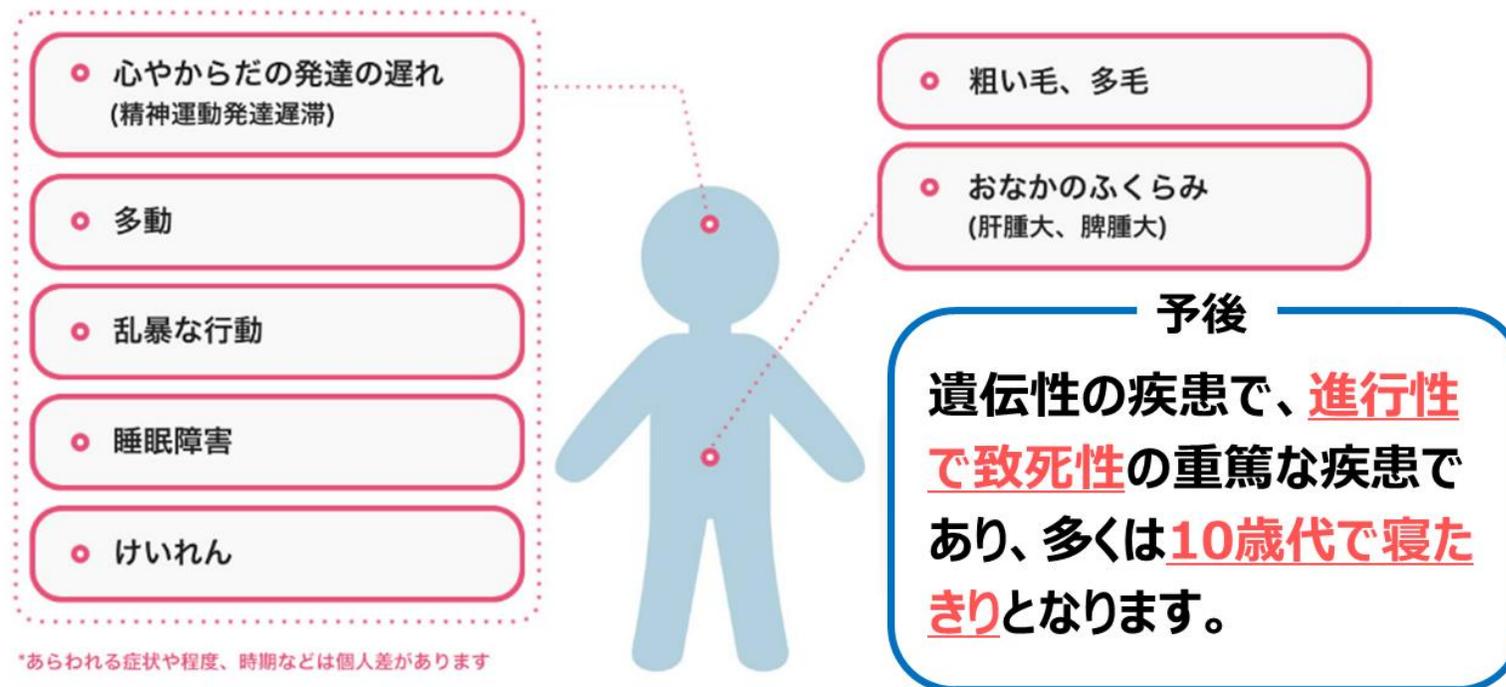
- フコシドーシス
- ムコ多糖症ⅢB型
- 神経セロイドリポフスチン症I型 (CLN1)
- 神経セロイドリポフスチン症II型 (CLN2)
- ガラクトシアリドーシス



## 対象疾患と開発の社会的意義

- 対象疾患（フコドーシス・ムコ多糖症ⅢB型）は、現在治療薬のない、神経症状を伴う、超希少疾病
- 患者さんだけでなく、医師からも治療薬の開発が待ち望まれている

### 例：ムコ多糖症ⅢB型の症状





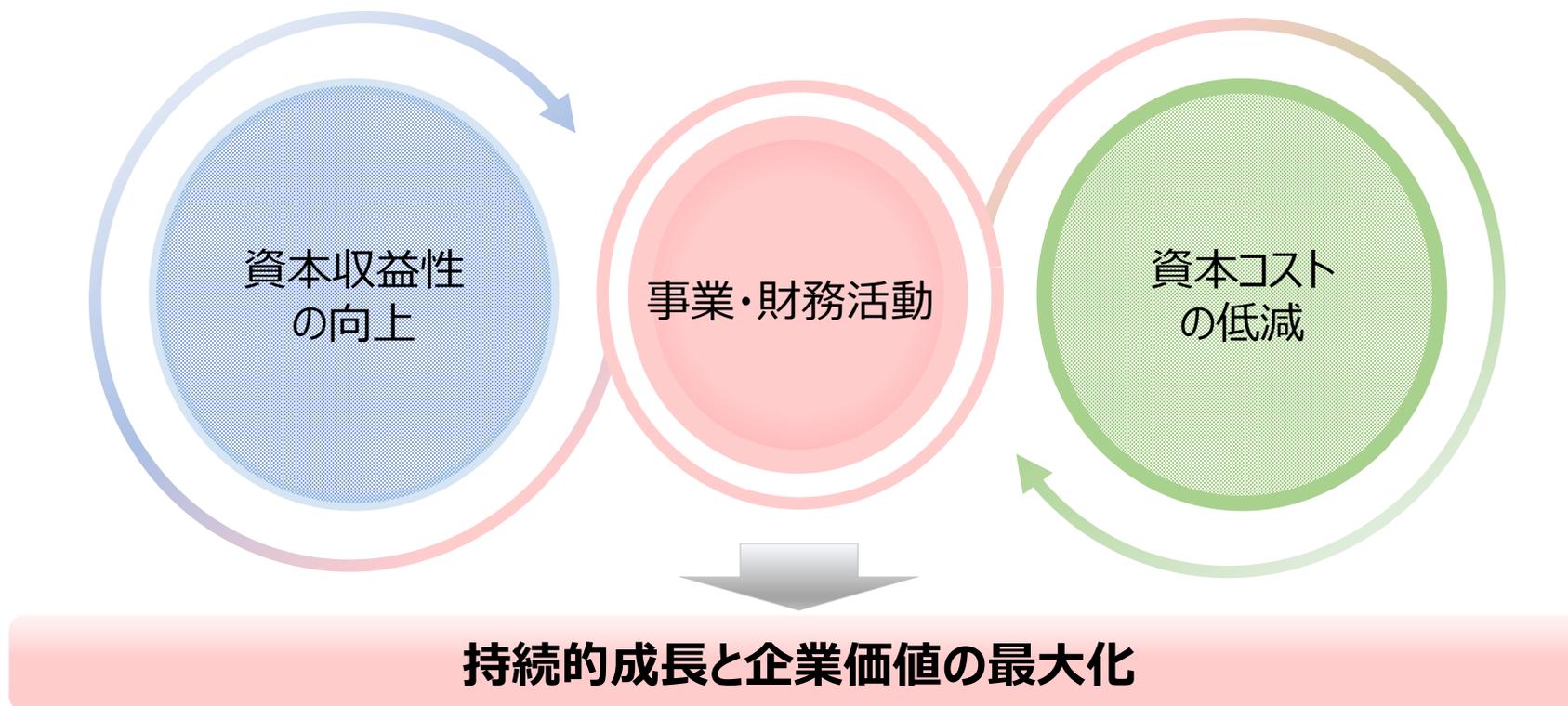
# 本日は説明する内容

- 会社概要
- 事業概要
- 成長戦略
- 資本政策



## 資本政策に関する基本方針

「資本収益性の向上」と「資本コストの低減」を両輪とした事業・財務活動を通じて、企業としての持続的成長と企業価値最大化に努める





## 政策投資株式に関する基本方針

純資産の10%以下、かつ、500億円以下まで削減します。(2027年3月末)

株式保有リスクの抑制や資本効率性の観点から、その残高を削減する

## 利益配分に関する基本方針

### 株主総還元性向40%

2023年3月期から2027年3月期の5年間累計で、本中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生するのれん償却費・無形資産償却費控除前の利益に対して

原則として、「2027中期ビジョンに掲げた成長投資に伴い発生するのれん償却費・無形資産償却費控除前の利益に対する配当性向を安定的に維持・向上させる」とことと併せ、資金需要を総合的に見極めながら、資本効率の向上と株主の皆さまへの一層の利益還元を目的とした「自己株式の取得・消却」を弾力的に実施する

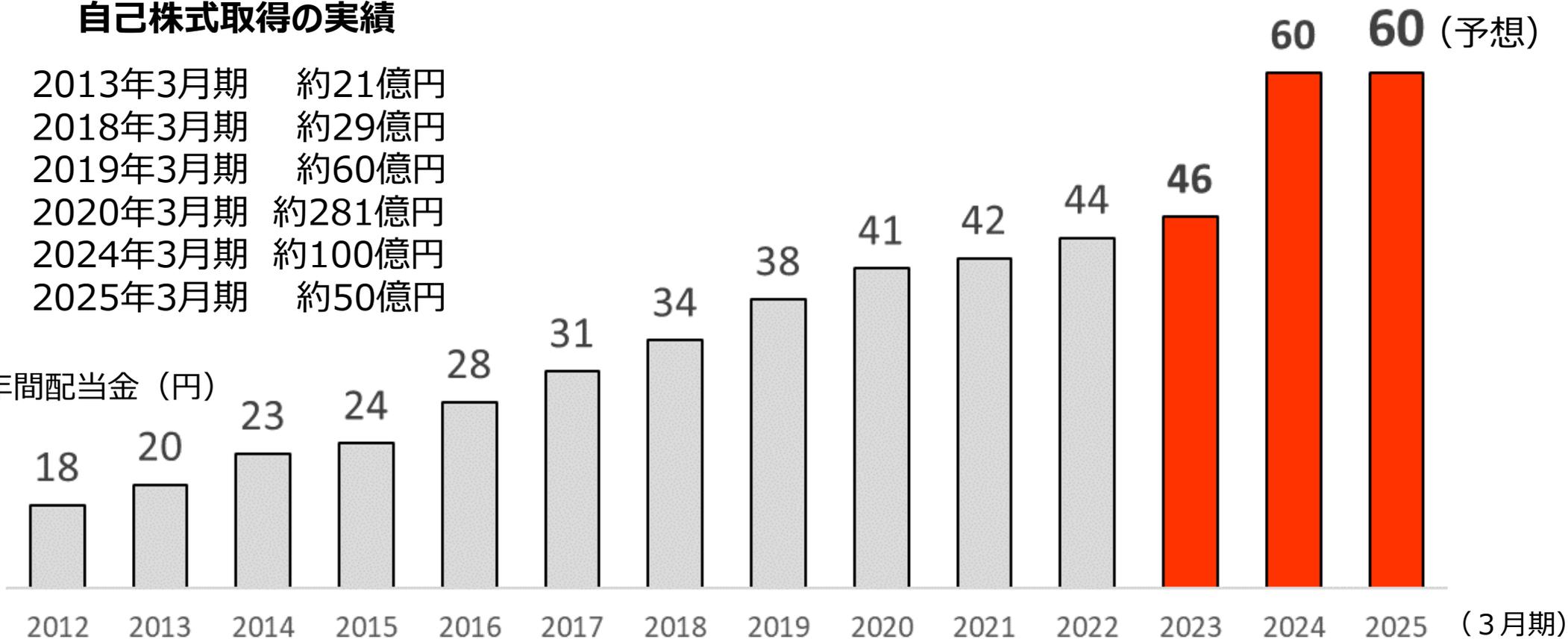


過去13年間にわたり配当金は増配または維持  
自己株式取得も機動的に実施しています

自己株式取得の実績

2013年3月期 約21億円  
 2018年3月期 約29億円  
 2019年3月期 約60億円  
 2020年3月期 約281億円  
 2024年3月期 約100億円  
 2025年3月期 約50億円

1株あたり年間配当金 (円)





中期ビジョンに沿った取組みを積極的に推進しながらも、  
2025年3月期は増収、営業・経常利益の増益を予想しています

2025年3月期（予想）

対前期増減

売上高

3兆6,600億円

+1,012億円（+2.8%）

営業利益

500億円

+26億円（+5.6%）

経常利益

660億円

+14億円（+2.2%）

前期に、政策投資株式売却益など特別利益を119億円計上しており、2025年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益は335億円と、前期から79億円の減益予想となっています。



ご清聴ありがとうございました。

「医療と健康、美」を広げ、支え、つなぐ  
健康応援オーケストラ





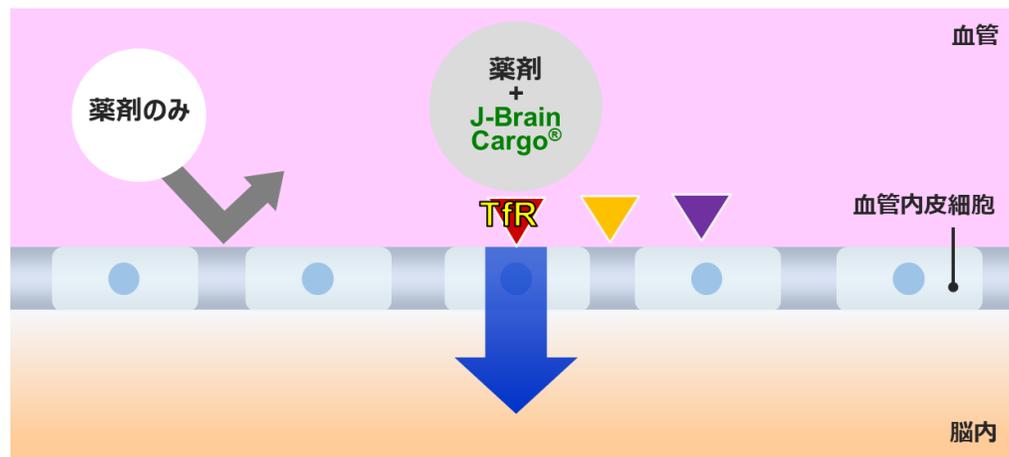
ご参考

## 超希少疾病用医薬品開発事業の取組み

### J-Brain Cargo<sup>®</sup> (血液脳関門通過技術)

発達障害や言語障害などの中枢神経症状の改善には、医薬品の有効成分を中枢神経に届ける必要があります。

JCRは脳に存在するバリア機構、血液脳関門を通過させて脳内に薬剤を届ける独自技術「J-Brain Cargo<sup>®</sup>」を開発し、**世界で初めてヒトでの血液脳関門通過を実証しました。**



### 海外での活動も着々と進めています



20th Annual WORLDSymposium™ 2024  
に参加



アメリカ、ドイツ、オーストラリアのムコ多糖症III型患者会の皆様と



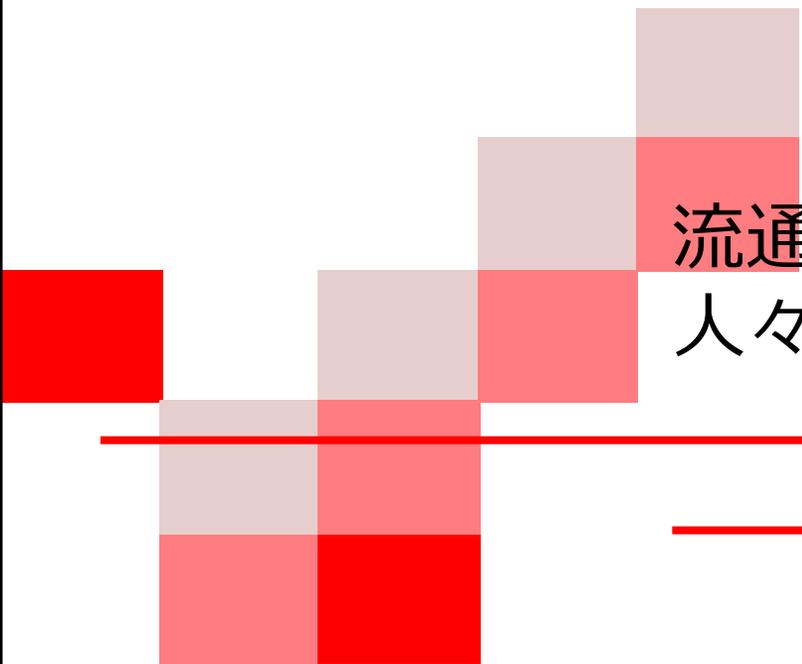
## ご参考 ライソゾーム病とは

ライソゾームは細胞の中の“ごみ処理工場”のような役割をしている細胞内小器官で、生体内の老廃物がこのライソゾームにある「酵素」で分解され、代謝されます。特定の酵素が生まれつき欠損しているか、その働きが低下していることで、分解・代謝が正常に行われず、さまざまな症状を引き起こす疾患です。欠損している酵素の種類により蓄積する物質も症状も異なり、現在までに50種類以上のライソゾーム病が知られています。



参照：JCRファーマ株式会社

<https://www.jcrpharm.co.jp/lysosome/>



流通価値の創造を通じて  
人々の健康と社会の発展に貢献します。

---

---



株式会社 メディパルホールディングス

